

## 大田区議会公明党の実績

### 防災・減災

- 学校体育館への空調設備(エアコン)設置
- 風水害時の避難行動タイムライン(マイタイムライン)の普及促進
- 防災行政無線の電話応答サービス(☎0180-993-993)導入

### 子育て・教育

- 子育て世代包括支援センター機能の整備
- 就学援助費(新入学用品費)の入学前支給
- 放課後こども広場事業の実施

### 安心・安全

- 振り込めサギ対策の取り組み(自動通話録音装置の無料貸与)
- 区道街路灯・公園灯の全面LED化を促進
- 高齢者の住宅確保支援事業を拡充
- 食品ロス削減と福祉的有効活用(フードドライブの推進)

### 玉川ひでとし の実績

- 学校避難所の機能拡充(防災活動拠点として整備・拡充)
- 雨水ますの排水を促す蓋(ふた)の網状化、および土のう置き場の設置など水害対策を強化
- 家庭内備蓄(自助)の普及啓発及びシンボルマークの作成
- 洗足池周辺環境の整備

新型コロナ感染症対策に関する緊急要望を  
松原大田区長に提出



▶▶▶詳しくは中面をご覧ください。

## 玉川 ひでとし

LINE  
公式アカウント  
はじめました!



友だち登録方法

QRコードで追加



STEP  
1

メニューの「友だち追加」

STEP  
2

「QRコード」を選択

STEP  
3

こちらのQRコードを読み取り、友だち追加!

公式チャンネル  
**たまちゅんねる**



9月からスタート  
是非ご視聴  
ください!



他のSNSも  
**「玉川 ひでとし」**  
で検索 (^o^)/



K O M E I O T A



## 大田総支部だより

2020年 秋季号  
発行/公明党大田総支部  
大田区蒲田5-46-10  
会館ビル102



明年の都議選に  
**玉川  
ひでとし**  
氏を公認

- 昭和43年12月4日 葛飾区生まれ
- 創価高等学校、創価大学経済学部卒業
- 味の素グループのIT関連会社、味の素システムテクノ株式会社にて勤務
- 平成23年 大田区議会議員初当選～平成31年3期目当選
- 座右の銘：我れ以外みな我が師
- 家 族：妻、長男、長女
- 趣 味：スポーツ、格闘技、銭湯研究、観劇、国際交流

プロフィル

公明党は、7月30日の中央幹事会で、明年夏予定の東京都議会議員選挙の第2次公認候補として、大田区選挙区から、新人の玉川ひでとしさんを決定しました。尚、遠藤守都議会議員は、今期限りで勇退となります。

玉川ひでとし氏は、次のように述べています。  
「3.11東日本大震災が発災した翌月、2011年4月に大田区議会議員に初当選させていただき、早くも10年目となりました。例年続いている自然災害、そして新型コロナウイルスの感染拡大といった困難な状況が続く中、新しい生活様式をはじめ、人との関わり方や物事の価値観など、大きな変化への対応が求められていますが、公明党の立党精神である「大衆とともに」との原点を肝に銘じ、「生活者の目線」で現場の声を政治に届け、誠実に一生懸命働いてまいる決意です。」

尚、都議会は、臨時会本会議(7月17日)に於いて、東京都議会議員選挙の定数配分に関して練馬区を1増やし、大田区を1減らす「1増1減」とする条例改正案を賛成多数で可決しました。来年夏に予定されている次期都議選から実施され、大田区選挙区は8から7に削減されます。

# 新型コロナ感染症 対策を実現!!

- ① 中小企業・小規模事業者向け「新型コロナウイルス対策特別資金」の設置
- ② 障害福祉・介護サービス事業者等に対するサービス継続緊急支援金の支給
- ③ PCR検査センターの設置
- ④ 区立全小中学校に非接触型検温器(サーモグラフィー)の配備
- ⑤ 区立全小中学校にタブレット端末の追加配備(1人1台の実現)
- ⑥ 妊婦への支援(衛生資材の支給、タクシーチケット等配布)
- ⑦ インフルエンザの予防接種費用助成  
(1歳から15歳まで:1回あたり2,000円の助成、70歳以上:自己負担額免除)
- ⑧ 災害時避難所の感染症対策を大幅拡充
- ⑨ 大田区奨学金貸付の特例制度を設置

## 今後の感染拡大に備え、区へ追加の緊急要望を提出

- 定額給付金の支給対象拡大(令和3年4月1日生まれまでの新生児)
- 区立小中学校の児童生徒の机に、仕切り板を設置
- 休校期間中の児童の学びの保障
- 子どもたちの命を守る施策の充実

区立小中学校では一部で臨時休校などの対応が取られる中、区議会公明党は7月22日、松原忠義大田区長・小黒仁史教育長に対し、学びの保障に関する緊急要望を提出しました。同時に、子どもたちの命を守る施策の充実を求める緊急要望についても提出をしました。

加えて、8月5日にはコロナ禍において出産育児に不安を抱える妊産婦への支援として、定額給付金の支給対象を令和3年4月1日生まれの新生児まで広げよう緊急要望を提出。あわせて、学校における感染拡大防止のため、児童生徒の机に仕切り板を設置するよう要望しました。

引き続き、現場の声をつかみ、皆様の命と暮らしを守る施策の拡充に努めてまいります。



# 都議会公明党が 強力推進

## 新型コロナ感染対策を進める 新たな補正予算案を緊急要望

都議会公明党は6月25日、小池都知事に対し、新型コロナ感染対策を進めるための新たな補正予算案の編成を緊急要望しました。これを受けて知事は、都議会公明党の提案を大きく反映させた総額3,132億円の補正予算案を都議会に提案、7月27日に終了した都議会臨時会で可決・成立しました。



詳細は

[緊急包括支援交付金](#) で 検索



### 医療分給付対象

都道府県から役割を設定された医療機関等に勤務し患者と接する  
医療従事者や職員

- ① 感染症の診療等を行った医療機関等(1人20万円)
- ② 上記①以外の場合(1人10万円)
- ③ その他病院、診療所、訪問看護ステーション、助産所に勤務し患者と接する医療従事者や職員(1人5万円)

### 介護分給付対象

令和2年1月24日～6月30日の間に10日以上勤務した職員

- ① 感染者や濃厚接触者に対応した事業所に勤務し利用者と接する職員(1人20万円)
- ② 上記①以外の職員(1人5万円)
- ③ 上記①以外の事業所等で勤務し利用者と接する職員(1人5万円)

### 障がい分給付対象

令和2年1月24日～6月30日の間に10日以上勤務した職員

- ① 訪問系サービス  
感染者又は濃厚接触者にサービスを1度でも提供した職員(1人20万円)
- ② その他の支給対象事業所等  
感染者又は濃厚接触者が発生した日以降に当該施設等で勤務した職員(1人20万円)
- ③ 上記以外の職員(1人5万円)

## 妊婦への分娩前のPCR検査実施せよ

不安を抱える妊婦への分娩前のPCR検査の実施や里帰りが困難な妊産婦を支援すべきと訴えました。

福祉保健局長は、PCR検査を希望する方を支援するとともに、里帰り出産が困難な妊産婦への育児サービスを提供する区市町村と連携して支援すると回答しました。

## 中等症患者を診療する 新型コロナ専用病院が 今秋にも2カ所計200床

新型コロナ専用病院を開設し、重症者の病床を圧迫しないよう中等症の患者を重点的に診療する体制づくりを都議会公明党が強力に推進し、都は、軽症者用の宿泊療養施設に加え、中等症向けの臨時の専用医療施設を新たに確保しました。

都内では初めて渋谷区の東海大学医学部付属東京病院と府中市の都立府中療育センター旧施設の2カ所、約100床ずつ計約200床が今秋オープンに向けて準備を開始します。

## 90万人のシルバーパス 更新手続は郵送で

毎年9月に都内約470会場で更新手続が行われるシルバーパスについて、3密が懸念されるため、すべて郵送による手続にすべきと提案しました。福祉保健局長は、約90万人のシルバーパス利用者の感染リスクを考慮し、今年8月に分かりやすい案内を発送して9月末までに新しいパスを郵送するとの考えを示しました。

## 都が家賃上乗せ補助

国は売り上げ減少に直面した中小企業や個人事業主を支援するため家賃支援を実施しますが、都は都内の家賃水準が高いことを踏まえて国の補助にさらに上乗せして支援します。

中小企業の場合、月額支払い賃料が75万円以下の場合、国の補助「3分の2」に都独自の補助を加えて「4分の3」にします。賃料75万円超の部分は、同様に「3分の1」から「8分の3」に拡充します。拡充分の都の補助は3カ月分を一括支給します。

申請受付は8月中旬からで、既に始まっている国の家賃補助の給付決定を受けている必要があります。

東京都家賃等支援給付金コールセンター TEL 03-6626-3300